



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 コムシード株式会社
 コード番号 3739 URL <https://www.commseed.net/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚原 謙次
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 大久保 泰夫

TEL 03-5289-3111

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	671	19.0	133		140		222	
2020年3月期第2四半期	564	19.2	2		3		30	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	19.16	
2020年3月期第2四半期	5.28	

(注)当社は2020年4月1日付をもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。また、2021年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	994	650	65.3
2020年3月期	996	672	67.4

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 649百万円 2020年3月期 671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想については、現時点で合理的な算出が困難なため、記載しておりません。詳細は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	11,927,016 株	2020年3月期	11,474,528 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	148 株	2020年3月期	148 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	11,610,373 株	2020年3月期2Q	11,474,391 株

(注)当社は2020年4月1日付をもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、4月からの緊急事態宣言をはじめ、全国的に経済活動が制限される中、個人消費は急激に落ち込み、現在もなお厳しい状況が続いております。

一方で、モバイルアプリに関する状況としては、新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミック下において、2020年上半期のモバイルアプリとゲームのダウンロード数が世界全体で2019年下半期比10%増と、他の業界と比較しても際立った強さを見せております。(APP ANNIE モバイル市場への新型コロナウイルスの影響と消費者行動変化)

そのような中、当社では、当第2四半期累計期間において、引き続きモバイルゲームアプリ関連事業に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の事業の概況としては、既存事業が堅調に推移し、新規サービスの売上也加算されるなど、当社で取り組んでいる全ての分野において、増収となりました。

利益については、新規サービスの広告宣伝費が大きく影響し、営業損失を計上いたしました。また、サービスの一部タイトルで当初計画していた収益性の乖離が発生した各資産グループについて固定資産の減損処理を実施し、特別損失を計上いたしました。

以上の結果、売上高は671,611千円（前年同期比19.0%増）、営業損失133,502千円（前年同期は営業損失2,158千円）、経常損失140,383千円（前年同期は経常損失3,687千円）、四半期純損失222,416千円（前年同期は四半期純損失30,288千円）となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

①ソーシャルゲームについては、主力サービスのバーチャルホール「グリパチ」において、月一本ペースで新規アプリを投入し、関連するイベント等を実施いたしました。あわせて、累計510万人の会員数を抱えるメディアとしての価値を活かし、広告による収益化も図っております。

6月には新規アプリ「ビッグバッドモンスターズ」をリリースし、プロモーション及びコラボイベント等を実施いたしました。

②従量制アプリについては、当第2四半期累計期間に新規アプリを3本投入したほか、第3四半期以降に発売予定のアプリ開発を進行いたしております。

③SNSゲームの運営ノウハウを生かしたBtoB（企業間取引）向け受託開発・運営に関しては、複数のストック型案件を継続運用したほか、フロー型受託案件を複数獲得いたしました。

④その他新規事業については、当社が日本版のローカライズ及び運営に参画している「ONE PUNCH MAN 一撃マジファイト」（本年10月より日本国内向けに展開開始）に関して、パブリッシャーのグリー株式会社をはじめとする関係各社と連携してリリース準備を進行いたしました。

また、関連会社である株式会社モビディックとの共同開発プロジェクトとなるHTML5ゲーム「ポルト・ミラージュ」（同じく本年10月に展開開始）に関する準備を進行いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末から1,428千円減少し、994,663千円（前事業年度末比0.1%減）となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金35,724千円、投資その他の資産その他16,441千円が増加しましたが、現金及び預金18,604千円、流動資産その他8,676千円の減少と流動資産の貸倒引当金9,566千円の計上や無形固定資産17,048千円の減少によるものです。

②負債

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末から20,105千円増加し、343,759千円（前事業年度末比6.2%増）となりました。

これは主に、買掛金23,245千円、その他14,238千円が増加し、長期借入金15,174千円が減少したことによるものです。

③純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末から21,533千円減少し、650,904千円（前事業年度末比3.2%減）となりました。

これは主に、第4回無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ100,000千円増加しましたが、四半期純損失の計上による利益剰余金222,416千円の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同四半期と比べ51,559千円減少し、334,341千円(前年同四半期比13.4%減)となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は152,070千円(前年同四半期は60,062千円の使用)となりました。

これは主に、減価償却費15,785千円、減損損失74,331千円、貸倒引当金の増加9,146千円、仕入債務の増加23,245千円、その他14,089千円の資金増加と、税引前四半期純損失214,295千円、売上債権の増加35,724千円、長期前払費用の増加43,554千円の資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は48,728千円(前年同四半期は155,310千円の使用)となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出46,576千円の資金減少によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は182,194千円(前年同四半期は30,810千円の使用)となりました。

これは主に、新株予約権付社債の発行による収入197,368千円の資金増加と、長期借入金の返済による支出15,174千円の資金減少によるものです。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、主力事業であるソーシャルゲーム「グリパチ」に加え、ゲームパブリッシング事業、受託事業を通し、ユーザーの皆様のニーズにマッチした質の高いコンテンツを提供することで収益基盤を維持し、第2、第3の柱となる事業の創出を早期に実現すべく、他のコンテンツホルダーや周辺領域において豊富なノウハウを持つ企業とのアライアンス等を引き続き推進してまいります。

しかしながら、当社を取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことに加え、当社業績は著作権を持つ取引先の状況や、パチンコ・パチスロ系スマートフォンアプリに関する実機の許認可の状況に左右される場合があり、当社の業績も短期的に大きく変動することも想定されます。

また、現時点で新型コロナウイルス感染症拡大が当社の事業活動及び計画や経営成績に与える影響を合理的に算定することが困難なため、2021年3月期の業績見通しにつきましては、開示を見合わせることにいたしております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	352,945	334,341
受取手形及び売掛金	202,047	237,772
仕掛品	2,534	1,143
原材料及び貯蔵品	1,158	1,150
その他	65,768	57,091
貸倒引当金	—	△9,566
流動資産合計	624,455	621,934
固定資産		
有形固定資産	7,992	9,272
無形固定資産	105,237	88,188
投資その他の資産		
その他	297,407	313,848
貸倒引当金	△39,000	△38,580
投資その他の資産合計	258,407	275,268
固定資産合計	371,636	372,729
資産合計	996,091	994,663
負債の部		
流動負債		
買掛金	97,672	120,918
1年内返済予定の長期借入金	30,348	30,348
未払法人税等	7,027	4,822
その他	59,836	74,075
流動負債合計	194,884	230,164
固定負債		
長期借入金	101,196	86,022
退職給付引当金	8,376	8,376
役員退職慰労引当金	19,197	19,197
固定負債合計	128,769	113,595
負債合計	323,654	343,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	884,926	984,926
資本剰余金	316,035	416,035
利益剰余金	△529,433	△751,849
自己株式	△53	△53
株主資本合計	671,474	649,058
新株予約権	963	1,845
純資産合計	672,437	650,904
負債純資産合計	996,091	994,663

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	564,517	671,611
売上原価	349,408	457,390
売上総利益	215,109	214,220
販売費及び一般管理費	217,267	347,723
営業損失(△)	△2,158	△133,502
営業外収益		
受取利息	200	160
雑収入	6	81
その他	0	0
営業外収益合計	207	242
営業外費用		
支払利息	516	606
社債利息	-	241
社債発行費	-	2,631
支払手数料	1,220	3,644
営業外費用合計	1,736	7,123
経常損失(△)	△3,687	△140,383
特別利益		
新株予約権戻入益	30	-
貸倒引当金戻入額	-	420
特別利益合計	30	420
特別損失		
減損損失	5,573	74,331
貸倒引当金繰入額	19,500	-
特別損失合計	25,073	74,331
税引前四半期純損失(△)	△28,731	△214,295
法人税、住民税及び事業税	1,147	1,146
法人税等調整額	409	6,974
法人税等合計	1,557	8,120
四半期純損失(△)	△30,288	△222,416

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△28,731	△214,295
減価償却費	10,216	15,785
減損損失	5,573	74,331
新株予約権戻入益	△30	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19,500	9,146
株式報酬費用	—	882
受取利息及び受取配当金	△201	△161
支払利息	516	848
社債発行費	—	2,631
売上債権の増減額 (△は増加)	30,478	△35,724
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△189	1,398
仕入債務の増減額 (△は減少)	△35,403	23,245
前払費用の増減額 (△は増加)	△9,937	2,382
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△22,168	△43,554
その他	△27,007	14,089
小計	△57,384	△148,993
利息及び配当金の受取額	201	161
利息の支払額	△585	△947
法人税等の支払額	△2,292	△2,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	△60,062	△152,070
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△2,221
無形固定資産の取得による支出	△26,310	△46,576
関係会社株式の取得による支出	△70,200	—
関係会社社債の取得による支出	△59,800	—
貸付金の回収による収入	—	420
敷金の差入による支出	—	△350
その他の収入	1,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,310	△48,728
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△30,757	△15,174
新株予約権付社債の発行による収入	—	197,368
自己株式の取得による支出	△53	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,810	182,194
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△246,183	△18,604
現金及び現金同等物の期首残高	632,084	352,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	385,901	334,341

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間において、第4回無担保転換社債型新株予約権付社債が権利行使され、資本金及び資本準備金がそれぞれ100,000千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が984,926千円、資本準備金が416,035千円となっております。

3. 補足情報

(主要な設備)

前事業年度末において、計画中であった主要な設備の新設計画について変更があったものは、以下のとおりであります。

事業所名 (所在地)	事業部門 の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着工及び完了予定 年月		完成後の 増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社 (東京都 千代田区)	全社	ソフトウェア	未定 (注) 2	42,398	自己資金	2019年 12月	2021年 5月 (注) 3	(注) 4

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 投資予定の総額については、仕様変更により未確定であるため未定としております。

3. 当初の計画に比べ、完了予定年月が10か月延期となりました。

4. 完成後の増加能力につきましては、合理的な算出が困難なため記載しておりません。